

案内

東京大学ファカルティ・ ディベロップメント 「インタラクティブ・ ティーチング」フォーラム 第1回あらためてシラバス

日時：3月4日(日)10:00～18:00(情報
交換会：18:15～20:00)

会場：東京大学駒場 I キャンパス講堂ほ
か(東京都目黒区)

プログラム：セッション1「あらためて、
シラバス」／セッション2「テキストシラ
バス改善演習」／セッション3「グラ
フィックシラバス作成演習」／セッシ
ョン4分科会：A「大教室でもアクティ
ブラーニングを実現させよう」(事務局企画
[大人数])、B「受講者を惹き付ける問
いを作ろう—ジグソー法・ピアインストラ
クション」(参加者企画[少人数])、C「理
解者を増やそう・職場に広めよう—「現
場」への展開」(参加者企画[少人数])、D
「模擬授業から授業を磨こう—『アクティ
ブに味わう短歌』を題材に」(参加者企画
[少人数])

講師：栗田佳代子(東京大学)、佐藤浩章
(大阪大学)、吉田星(東京大学)、中村長
史(東京大学)

対象：大学教職員、大学院生・PD、他
教育課程の教職員など

定員：300名(先着順)

参加費：3000円(大学院生・PDは無料)

申込方法：下記サイト内、申し込み
フォームより

問い合わせ先：下記サイト内、担当者ま
で

[https://www.utokyofd.com/
archives/2616/](https://www.utokyofd.com/archives/2616/)

案内

北海道大学 CoSTEP(科学技 術コミュニケーション教育研 究部門)

MOOC(無料で学べるオンラ イン講座)「ようこそ、科学技 術コミュニケーション」配信

講座配信期間：3月7日(水)～4月17
日(火)(4週間)

※開講中はいつでも受講可能

カリキュラム：

第1週：科学技術コミュニケーション

とは

科学技術コミュニケーションとは／科学
技術コミュニケーションの歴史／科学技
術コミュニケーションの現在／科学教育
からみる科学技術コミュニケーション

第2週：対話でつなぐ科学と社会

科学技術コミュニケーションとしての対
話／対話の場を企画する／対話の場を創
る／対話の実践を巡る対談

第3週：文章でつなぐ科学と社会

科学技術コミュニケーションとしてのラ
イティング／ライティングを企画する／
インタビューという実践／文章でどう科
学を伝えるか

第4週：科学と社会をつなぐ多様なメ
ディア表現

映像というメディア／WEBというメ
ディア／グラフィックというメディア／
アートというメディア

課題内容：毎回の授業内での確認問題
(80点分)と記述式レポートの最終試験
(20点分)を行う

修了条件：得点率60%以上

申し込み方法：下記のホームページより
受講登録をする

[https://lms.gacco.org/courses/course-
v1:gacco+ga097+2018_03/about](https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+ga097+2018_03/about)

※もしくは「gacco」で検索し、トップ
ページから「ようこそ、科学技術コミュ
ニケーション」のバナーをクリックする

問い合わせ先：北海道大学高等教育推進
機構オープンエデュケーションセンター
(担当：奥本・重田)

contact@open-ed.hokudai.ac.jp

案内

成城大学共通教育研究 センター開設10周年記念事業 公開ワークショップ 「表現教育の可能性」第8回

日時：3月10日(土)15:00～17:30

会場：成城大学3号館大会議室(東京都
世田谷区)

プログラム：講義「STEM+ART が求め
られる時代に感性と言語をどう結びつけ
るのか—パーソナル・ナラティブライ
ティングとクリエイティブベーシックの
実践から考える」(谷美奈(帝塚山大学准教
授)、國寶真美(成城大学専任講師))

参加費：無料

問い合わせ先：成城大学共通教育研究セ

ンター

TEL:03-3482-9556

E-mail: kyotsu@seijo.ac.jp

[http://www.seijo.ac.jp/education/
support/ge-center/](http://www.seijo.ac.jp/education/support/ge-center/)

案内

看護経済・政策研究学会 第30回研究会

日時：3月21日(水)13:30～17:00

会場：東京情報大学看護実習棟(9号館)

デモンストレーション室(千葉市若葉区)

テーマ：病や障害とともに生きる看護職
の活用—ケアギバーとしての役割と共生
社会への道

プログラム：第一部パネリストからの話
題提供 加納佳代子(東京情報大学特命
副学長(看護学部担当)・日本てんかん協
会千葉県支部世話人(当事者))、瀬戸山
陽子(東京医科大学医学部看護学科看護
情報学講師(当事者))、中津真美(東京大
学バリアフリー支援室特任助教)、仲村
信一郎(国立職業リハビリテーションセン
ター上席障害者職業カウンセラー臨床心
理士)、栗原房江(前東京大学大学院経済
学研究科 REASE(Research on Economy
And Social Exclusion: 社会的障害の経
済理論・実践研究)・聴覚障害をもつ医
療従事者の会(当事者))／第二部パネ
ルディスカッション「病や障害とともに生
きる看護職の活用について」パネリスト
と参加者間で討論(手話通訳、パソコン
文字通訳)

参加費(資料代として)：非会員2000円、
会員：無料

※参加費は当日会場で徴収

参加申込：下記の申し込みフォームへ、
氏名・所属・連絡先(メールアドレス)お
よび希望する合理的配慮(該当者のみ)を
入力して送信(合理的配慮の申出および
問い合わせには折返し連絡。メールアド
レスは必須)

申し込みフォーム：[https://goo.gl/forms/
vyJH6ObYX2GYussQ2](https://goo.gl/forms/vyJH6ObYX2GYussQ2)

学会ホームページ：[http://jsnep.umin.jp/
meeting/index.html#30th](http://jsnep.umin.jp/meeting/index.html#30th)

案内

日本訪問看護財団研修 平成30年度診療報酬・ 介護報酬同時改定セミナー

日時：3月21日(水・祝)

会場：東京工科大学蒲田キャンパス地下
1階大講義室(東京都大田区)

内容：診療報酬改定と介護報酬改定の
内容・留意点 / 新報酬の活用の仕方 / 訪問
看護事業の展望など

講師：佐藤美穂子(財団常務理事，厚生
労働省担当)，内野今日子(財団看護専門
相談員)

対象：訪問看護従事者，請求事務担当者
など

受講料：会員8000円，非会員1万8000
円

申込方法：財団ホームページ(<http://www.jvnfor.jp/>)の申込フォームより

問日本訪問看護財団研修担当

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2

日本看護協会ビル5階

TEL:03-5778-7005

FAX:03-5778-7009

<http://www.jvnfor.jp/>

案内

第4回全国男性看護師会 交流集会

日時：3月24日(土)11:00～17:30

会場：大田区産業プラザ(東京都大田区)

テーマ：日々の看護実践を探究しよう

プログラム：シンポジウム「あらためて
日々の看護実践を考える」臨床現場で活
躍する男性看護師／グループワーク「あ
なたの看護実践をともに探究し，明日に
いかそう」全国男性看護師会教育委員会

参加費：正会員1500円，サポート会員
1800円，非会員2500円，学生：無料(学
生会員および大学院生を除く)，懇親会
5000円(別途)

※女性看護職も歓迎。詳細はホームペ
ージを参照

申込方法：下記ホームページより登録

<http://www.samurainurse.com/>

問い合わせ先：三重県立看護大学内全国
男性看護師会事務局(担当：前田，長谷
川，上杉)

〒514-0116 三重県津市夢が丘1-1-1

E-mail: jnamn@mcn.ac.jp

案内・募集

日本災害看護学会 第20回年次大会

日時：8月10日(金)～11日(土)

会場：神戸国際会議場(神戸市中央区)

テーマ：災害に立ち向かう看護のリー
ダーシップを探究する

参加費：(事前登録)会員1万円，非会員
1万1000円，(当日登録)会員1万1000
円，非会員1万2000円，学生2000円

事前登録：2018年4月5日(木)～6月20
日(水)

【演題募集】

一般演題(口演・示説)・交流集会・ワー
クショップ

募集期間：2月20日(火)～4月17日

(火)

問い合わせ先：サンプラネットメディカル
コンベンション事業部内運営事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10

住友成泉小石川ビル6F

E-mail: jsdn20@sunpla-mcv.com

TEL:03-5940-2614

FAX:03-3942-6396

<http://jsdn20.umin.jp>

案内

2018年度愛知県看護協会 摂食・嚥下障害看護認定 看護師教育課程受講生募集

教育期間：9月～2019年3月(7か月)

募集人員：30名

受験資格：以下の要件をすべて満たして
いること

(1)日本国の看護師免許を有すること

(2)看護師免許を取得後，通算5年以上
(2018年3月末時点で)実務研修をして
いること

(3)下記の看護分野の実務研修を行って
いること

①通算3年以上，摂食嚥下障害患者が多
い保健医療福祉施設，または在宅ケア領
域での看護実績を有すること

②摂食嚥下障害患者を5例以上担当した
実績を有すること

③現在，摂食嚥下障害患者の看護に携
わっていることが望ましい

願書受付期間：4月9日(月)～4月24
日(火)(当日消印有効)

費用：(1)入学検定料5万円(会員・非会

員共通)，(2)入学金：会員5万円，非会
員7万5千円，(3)授業料：会員75万円，
非会員112万5千円

*会員：入学手続き時点以降に日本看護
協会会員のもの

入学試験科目：(1)筆記試験：専門基礎
科目，専門科目，小論文，(2)面接試験，

(3)事例報告：出願時の事例報告を採点

試験日：5月13日(日)9:30～16:00

試験科目：専門基礎科目，専門科目，小
論文，面接

試験会場：愛知県看護協会(名古屋市昭
和区)

資料請求方法：返信用封筒(A4サイズ，
切手250円分を貼付)に宛名を記入のう
え，下記まで送付

送付先・問い合わせ先：愛知県看護協会
認定看護師教育課程教務担当

〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26-18

TEL:052-871-0761

FAX:052-871-0757

E-mail: aikan-enge@earth.ocn.ne.jp

<http://www.aichi-kangokokyokai.or.jp/>

案内

日本家族看護学会 第25回学術集会

日時：9月1日(土)～2日(日)

会場：高知市文化プラザかるぽーと(高
知県高知市)

テーマ：家族看護学のグランドデザイン
への挑戦

問い合わせ先：歳時記屋内運営事務局

〒780-0072 高知県高知市杉井流19-2

TEL:088-882-0333

FAX:088-882-0322

E-mail: info@jarfn25.com

<http://www.jarfn25.com/index.html>